

補助事業番号 19-114

補助事業名 平成19年度 機械工業における環境問題等に関する調査研究等補助事業

補助事業者名 財団法人 地球産業文化研究所

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

地球的視野から、産業経済と資源、環境、生活、文化との好ましい関係の上に人類の持続的繁栄を図るため、経済社会のあり方に関する諸問題について調査研究を行って、総合的な政策提言をとりまとめるとともに、それらを広く普及するシンポジウムを開催し、もって機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容

<http://www.gispri.or.jp/bicycle/jigyo.html>

基礎調査

・ グローバル経済・社会システムの中での機械工業等のあり方に関する調査研究

ア 若年層の人材開発と雇用創出を考える研究委員会（前年度からの継続）

当研究委員会は、若年層の雇用と能力開発を取り巻く現下の課題解決に加え、中期的視点から、産業経済システム、教育制度のあり方を探り、産・官・学及び地域の担うべく役割の確認と、その遂行及び達成のための具体的方策の提案を取りまとめるべく作業を行った。

その結果、①義務教育段階からの職業準備教育、②若者が仕事に「希望と誇り」が持てる経済・社会システムの構築、③ワーキングプアといわれる非正規雇用者対策の3つの提言を盛り込んだ報告書を取りまとめた。

http://www.gispri.or.jp/bicycle/pdf/h19_1-1.pdf

イ 社会文化の変化と企業経営の進化に関する研究委員会

当研究委員会は、日本のものづくりの心、安全文化と企業活動における日本文化の体現と世界への発信が、日本と国際社会の進歩に結び付き、企業の持続的国際競争力の向上に寄与するとの観点から、事例研究を重ね、提言をまとめる作業を行った。

その結果、事例研究の最初のとりまととして、製品安全文化の定着、企業の社会的責任（CSR）と企業文化、ものづくりの倫理構築、製品安全文化の醸成と課題、コンプライアンスと企業価値、消費者のリスクに対する不安不満と幸福感、塩化ビニールを巡る環境安全問題と企業の対応について、盛り込んだ報告書を取りまとめた。

http://www.gispri.or.jp/bicycle/pdf/h19_1-2.pdf

ウ ものづくりの安全・品質に関する社会文化と企業経営の在り方等の調査

上記イの研究を補完するために、①製品安全の取組みと製品安全文化に関する先進国の取組事例と日本企業の問題点、②消費者の製品安全意識と企業の対応に関する先進国の取組事例と日本企業の問題点、③日本の伝統的なものづくりに関する文化が持続的国際競争力の強化に寄与する可能性についての調査を実施した。同調査の一環として、欧州委員会（EU）健康消費者保護総局等への実施調査も行い、その結果も報告書に盛り込んだ。

http://www.gispri.or.jp/bicycle/pdf/h19_1-4.pdf

・地球環境と機械工業等の両立する循環型経済社会の構築に関する調査研究

排出クレジットに関する会計・税務論点調査研究委員会

平成 17 年 7 月、排出クレジットの会計処理に関し、企業会計基準委員会（ASBJ）から基本的な考え方が示されているが、具体的な処理方法については言及されていない。そこで、本委員会では、企業の現況認識を把握するために、排出クレジットの選択、評価方法、間接費用、償却等の会計及び税務処理についてアンケートを行い、回答を整理した。また、地球温暖化の原因となる二酸化炭素をクリーンエネルギー事業等の実施により打ち消すカーボン・オフセットが議論されているが、それに係る会計及び税務上の論点についても整理し、グリーン電力基金とグリーン電力証書との対比等を織り込み、報告書を取りまとめた。

http://www.gispri.or.jp/bicycle/pdf/h19_1-3.pdf

シンポジウム

GISPRI シンポジウム 2007 の開催

平成 19 年 11 月 21 日、東京霞が関の全社協灘尾ホールにおいて、厚生労働省、経済産業省、日本経済団体連合会、東京商工会議所、日本労働組合総連合会、日本インターンシップ学会、日本キャリア教育学会及び日本キャリアデザイン学会の後援を得て、若者の雇用と教育訓練対策を主題に、GISPRI シンポジウム 2007 を開催した。

このシンポジウムは、上記（1）アの調査研究の成果を踏まえ、若者のキャリア教育と良好な雇用機会の提供を探るためのもので、冒頭、高梨昌信州大学名誉教授が「若者の雇用と教育訓練対策」をテーマに講演した。

冒頭講演の後、3セッションに分け、各界の有識者をパネリストとして招き、①学校段階におけるキャリア教育、②産業界におけるこれからの人材教育、③学校から社会への移行における課題と対応について、熱心に議論した。約 110 名が参加した。

<http://www.gispri.or.jp/symp/symp080304.html>

2. 予想される事業実施効果

当財団で行っている調査研究事業は、地球的視野から産業・経済と資源、環境、生活、文化との好ましい関係の在り方、地球人類の持続的繁栄を図るための地球経済社会の在り方等の地球産業文化についてのものであり、その研究成果を国の内外に広く発信している。

平成 19 年度に行った調査研究は地球規模で急速に変化する経済や環境に対し、グローバル且つ持続的な発展に寄与する提言及び日本の積極的リーダーシップのあり方を探求するものであり、我が国の機械工業の振興に寄与する極めて重要な効果が期待される。

また、「若年者の雇用と教育訓練対策－若者のキャリア教育と良好な雇用機会の提供のために－」と題する今回のシンポジウムは、平成 16 年から政府により「若者自立・挑戦プラン」、「再チャレンジ支援総合プラン」に基づく諸施策が進められている中、深刻な政策課題として存在し続けている若年層の雇用問題へのより具体的な意見等が交わされ、我が国の機械工業にとって望ましいグローバル社会への方向性が示されている。

このシンポジウムの結果は、調査研究事業の研究成果とともに、今後の経済産業省等の行政機関の政策立案、産業界をはじめ広く日本社会がこの問題への関心を持ち続け、具体的な取組への第一歩を促すことが期待される。

3. 本事業により作成した印刷物等

- ・若年層の人材開発と雇用創出を考える研究委員会報告書
- ・社会文化の変化と企業経営の進化に関する研究委員会報告書
- ・排出クレジットの関する会計・税務論点調査研究委員会報告書
- ・ものづくりの安全・品質に関する社会文化の変化と企業経営の在り方等の調査に係る報告書
- ・GISPRI シンポジウム 2007 プログラム
若年者の雇用と教育訓練対策
－若者のキャリア教育と良好な雇用機会の提供のために－

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：財団法人地球産業文化研究所

住所：103-0015

東京都中央区日本橋箱崎町 41 番 12 号 日本橋第二ビル 6 階

代表者：専務理事 蔵元 進（クラモトススム）

（問い合わせ先 事務局長 星名定雄（ホシナサダオ）

担当部署：企画研究部（キカクケンキュウブ）、

地球環境対策部（チキュウカンキョウタイサクブ）

担当者名：企画研究部長 金坂順一郎（カネサカジュンイチロウ）

地球環境対策部長 林 宏之（ハヤシヒロユキ）

電話番号：03-3663-2500

FAX : 03-3663-2310

E-mail : info@gispri.or.jp

URL : <http://www.gispri.or.jp/>